

ikóynu

2017

Sound installation / mixed media: speaker, Mac with surround system, audio interface, MP3players

I have started a research project of onomatopoeia in the Ainu language for Open Call AIR (Artist In Residence) project of Sapporo Tenjinyama Art Studio. I have met and talked to some the Ainu people and researchers, read some documents to learn various culture and history of the Ainu. The impressive discovery for me is Upopo, an oral literature of the Ainu, and Kamuy yukar, an epic poetry of the Ainu. Their Unique words and characteristic refrain that are seen in troll of Upopo, or Sakehe (one of Hayashi Kotoba, the meaningless refrain used to maintain the rhythm of Kamuy yukar are filled with a sense of exaltation, which inspire me a lot to realize the natural power of words.

I will present a new work for this Result of the Stay Presentation.

The work is a sound installation called "ikóynu" using Sakehe. "ikóynu" means "to hear the words from animals or things that people usually cannot hear" in the Ainu language. Sakehe in Kamuy yukar is used repeatedly, to describe the voice of the main character called Kamuy, that are animals or insects. It also describes the manner of Kamuy, or sometimes they are just nonsense words. To imitate or vocalize the Sakehe will give you an experience of the Ainu words.

This movie is a sound work which was performed with mayunkiki at the closing of the AIR program "s(k) now" held at Sapporo Tenjinyama Art Studio on February 26, 2017.

Collaborate with mayunkiki

Camera Operator: Sapporo Tenjinyama Art Studio, Taiga Kobayashi

Supported by Sapporo Tenjinyama Art Studio

ikoynu アイヌ

2017

サウンド インスタレーション / ミクストメディア：スピーカー、Mac、オーディオ・インターフェース、MP3 プレーヤー

さっぽろ天神山アートスタジオの AIR プログラムでは、アイヌ語のオノマトペ（擬音語・擬態語）のリスナーを目的に訪れました。その調査過程の中で、アイヌの人々や研究者に話を聞き、そして文献を参考に様々なアイヌの文化や歴史に触れることができました。その出会いのひとつにアイヌ口承文芸であるウポポ（伝承歌謡）やカムイユカラ（叙事詩）があります。独自の言葉と特徴的なリフレイン（ウポポの輪唱やカムイユカラの囃詞であるサケヘ）は高揚感にあふれ、本来持つ言葉の力強さに刺激を受けました。

今回のプログラム成果発表での新作は、カムイユカラの囃詞である「サケヘ」を引用したサウンド・インスタレーション「ikóynu（アイヌ）」です。アイヌ語で「動物など普通聞けぬものの言葉を聞く」という意味を持ちます。アイヌの口承文芸のカムイユカラの中で繰り返し謡われるサケヘには、主人公（カムイ）である様々な動物や虫などの声や様相（または既に意味が不明な言葉など）が言い表されています。私たちがそれらを声に出して模倣することで、アイヌの言葉を体感することをこの作品で試みています。

※この映像は、2017年2月26日にさっぽろ天神山アートスタジオで開催された AIR プログラム「s(k)now」のクロージングでパフォーマンスしたものです。サウンド作品の最後に mayunkiki さんにアイヌに歌い継がれるウポポの伝承曲「humpe yan na」で参加して頂きました。

撮影： さっぽろ天神山アートスタジオ、小林 大賀

叙事詩の音声及び表記の参考資料

萱野茂「萱野茂のアイヌ神話集成 カムイユカラ編 1-3」ビクターエンタテインメント 1998年
平取町立二風谷アイヌ文化博物館の Website、「アイヌ文化について」内の「アイヌ口承文芸を見る、聞く」のアイヌ語音声資料

<文献、アドバイス関係> [敬称略]

鎌田洋子 / 川上大雅 / 佐藤知己（北海道大学大学院文学研究科教授,同アイヌ・先住民研究センター
兼務教員） / 成田真由美 / mayunkiki / 森岡和子（北海道大学大学院文学研究科リサーチ・アドミ
ニストレーター）

<レコーディングに参加して頂いたみなさま> [敬称略]

かばやし龍太郎 / 川上将史 / 川上容子 / 工藤雅子 / 小林大賀 / 佐々木はるか / 下浦ゆかり /
鈴木萌 / 竹田麻衣 / 中司まなみ / 成田真由美 / 長谷川ともみ / 東方悠平 / 廣野聡美 / 松田仁
央 / mayunkiki / 若松まいこ / Warren Harper / James Ravinet

以下の団体、機関におかれましては本調査において多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さっぽろ天神山アートスタジオ / 北海道大学創成研究機構研究支援室 / 北海道大学高等教育推進機
構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）